

平成 26 年度大阪府中学生学びチャレンジ事業  
チャレンジテスト

中学校第 2 学年  
国語

注意

- 1 生徒アンケートが、問題冊子の 1 ページに 5 問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄にマークしてください。
- 2 調査問題は、3 ページから 24 ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 3 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 4 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消す時は消しゴムできれいに消してください。
- 5 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 6 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 7 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 8 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号、男女を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 9 調査時間は 45 分です。

アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるものを一つずつ選びなさい。

当てはまる	どちらかと	どちらかと	当てはまら
てはまる	いえば、	いえば、	ない
	はまる	はまる	
		はまらない	

- (1) 家で、自分で計画を立てて勉強している。……………①—②—③—④
- (2) 家で、学校の宿題をしている。……………①—②—③—④
- (3) 国語の授業の内容はよく分かる。……………①—②—③—④
- (4) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。……………①—②—③—④
- (5) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。……………①—②—③—④

問題は、次のページから始まります。  
先生の合図があるまで、次のページを開かないでください。

次の二つの詩【海の哲学】①【海】と、【鑑賞文】②を読んで、あとの問いに答えなさい。

【海の哲学】

(工藤直子「海の哲学」による。)

第一連

【鑑賞文】

題名を見てみると、『海の哲学』は「哲学」という言葉にドキッとします。「海」が深く考える人のように感じられる題名です。『海』では、他の修飾語しゅうしよくが書かれていないので、かえってどんな詩なのか想像が広がります。

連に着目して見てみると、『海の哲学』の第一連は、「コップ」を「かぞえる」ことから始まります。「ブラウス」「スーツ」や、「ちこく」する「時間」は、いずれも  を感じさせます。ここで「海」と全く関係ない言葉がなぜナランでいるのかと不思議な気持ちになります。途中で「」の接続詞があつて、「木々」が出てきて、ようやく「海」に近づくかと思つたら、また「困られ」「心配される」とあつて、海は出てきません。第一連の最後にようやく「で 海は？」と疑問形で登場します。第二連でいきなり「ああ海をかぞえるのはやめよう」とあり、「かぞえ」ていたことが否定されてびっくりします。それまで「1」とか「2」のアラビア数字だったのに、「」、「すべて」

【海】

(工藤直子「海の哲学」による。)

第三連 第二連

(高田敏子「海」による。)

第二連 第一連

と平仮名で数量を表す言葉がくり返されます。第三連では「かぞえることをやめた」と「海」が主語になり、それまで数字でとらえられていた私たちの生活とは異なり、「海」が数えることができな<sup>い</sup>大きなソ<sup>ン</sup>ザイであると言っているように思いました。最後の行は題名にもなっている「哲学」という言葉が使われていて、第一連の「**D**」の答えになっています。

一方、『海』は『海の哲学』に比べると、コウセイで意外なところは少ないと思いました。しかし、読み直してみると、第一連、第二連がそれぞれ「少年」「子どもたち」と「おとな」の**※**でコウセイされており、どちらも「おーい」という言葉で呼びかけています。また、全体を見ると、沖に向かって呼ぶ第一連と、沖からかえってくる海のこたえを待つ第二連も、**※**的に描かれています。最後の四行は倒置法<sup>②</sup>が用いられており、「おとな」にとつての「海」を考えさせるコウセイになっていて、私にとつての海は何だろうと考えさせられます。

一 【鑑賞文】の——線部(ア)～(ウ)のカタカナを漢字に直し、楷書<sup>かいしよ</sup>でていねいに書きなさい。

(ア) ナラ(んで)

(イ) ソンザイ

(ウ) コウセイ

二 【鑑賞文】の  に当てはまる言葉として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

1 物を大切にしていない私たちの生活

2 数にふり回されがちな私たちの生活

3 物がなければ満足できない私たちの生活

4 時間を気にする必要がない私たちの生活

三 【鑑賞文】の  と  に当てはまる言葉を、それぞれ【海の哲学<sup>てつがく</sup>】から抜き出しなさい。

四 【鑑賞文】の D に当てはまる言葉を、【海の哲学】から抜き出しなさい。

五 【鑑賞文】の——線部①「深く考える人のように」で使われている表現技法として最も適切なものを、次の1～4のうちから1つ選びなさい。また、同じ表現技法は【海の哲学】に多く使われていますが、その箇所を第二連から一行選び、抜き出しなさい。

- 1 対句ついでく
- 2 反復法
- 3 擬人法ぎじん
- 4 体言止め

※左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

〈抜き出した箇所〉

六 【鑑賞文】の——線部②「倒置法」とありますが、この表現技法によって【海】に生じる効果として最も適切なものを、次の

1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 余韻をもたせ、「おとな」が何を待っているのかについて、読み手の想像を広げている。
- 2 解釈を限定し、「おとな」が何を待っているのかについて、読み手に具体的に示している。
- 3 緊張感をもたせ、「おとな」が何を待っているのかと、読み手を不安な気持ちにさせている。
- 4 あいまいさを示し、「おとな」が何を待っているのかを、読み手に分からないようにしている。

七 【鑑賞文】の※には同じ言葉が入ります。当てはまる言葉として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 反復
- 2 連続
- 3 調和
- 4 対比



八 【鑑賞文】の〓線部「どちらも「おーい」という言葉で呼びかけています」とありますが、この部分について、次のように

書き加えることにしました。  に当てはまる言葉を、【海】から二十字以内で抜き出しなさい。

『海』では、「子ども」が呼びかけるときは、「少年」や「まわりの子どもたち」といったように、呼びかけている人が具体的にイメージできるようになっています。一方で、「おとな」は、「おとな」としか書いていないため、抽象的な「おとな」が呼びかけているように感じられます。

また、「子ども」の「おーい」は  と書かれており、呼びかけに対する答えは求めていないのに対して、おとなの「おーい」は呼びかけに対する答えを求めているかのように書かれています。

九 【鑑賞文】の内容を説明した文として適切なものを、次の1～4のうちから二つ選びなさい。

- 1 詩の中でくり返し出てくる表現に着目して書かれている。
- 2 詩の中で出てくる指示語のさすものに着目して書かれている。
- 3 詩のもつリズムを大切に、韻を踏んだ表現に着目して書かれている。
- 4 連の始まりの行と終わりの行に書かれている内容に着目して書かれている。

十 詩の中の気に入った部分について、友だちに紹介しょうかいすることになりました。二つの詩の中から気に入った部分を一つ取り上げ（どちらの詩を選んでもかまいません）、気に入った理由を、次の**条件1**と**条件2**にしたがって書きなさい。

**条件1** 詩の中から二行以内の**〈気に入った部分〉**を抜き出して書くこと。

**条件2** なぜその部分が気に入ったのか**〈気に入った理由〉**を三十字以上、六十字以内で書くこと。

※左の枠わくは、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

〈気に入った部分〉

--

〈気に入った理由〉

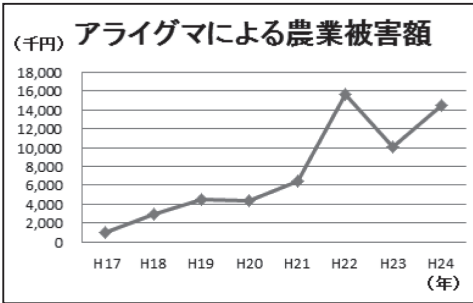
60		30	

問題は、次のページに続きます。

# アライグマに気をつけて

つつじ町では、アライグマの生息数が急増しており、農作物への被害も平成17年ごろから増加しています。本年も被害の発生が予想されますので、ご注意ください。

- アライグマの特徴
- ・タヌキに似ている。
  - ・しっぽがしま模様。
  - ・体が灰色。(ア)



- アライグマによる被害
- ・野菜や果実を収穫前に食べてしまう。
  - ・ペットのエサの残りや、生ごみをあさる。
  - ・屋根裏に住みつき、家屋に被害をもたらす。
  - ・人や家畜に「アライグマ回虫症」などの病気を感染させる。
  - ・人にかみつくことがある。

- アライグマの被害対策
- 野菜や果実の収穫期に電流が流れる柵を設けると、被害を軽減できる。
- ※アライグマは「特定外来生物」にあたるため、つかまえる場合や、わなをしかける場合は特別な許可が必要です。また許可を得てわなをしかける場合も、人がわなにふれてケガをしないよう近隣住民へ知らせてください。

■連絡・問い合わせ先 つつじ町役場〇〇課

【チラシ】

2

中学生の小林さんと高橋さんの住むつつじ町で【チラシ】が配られ、二人はそれを見ながら話をしています。次の【チラシ】と【会話】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【会話】

小林 アライグマに関するチラシが配られていたけど、農作物への被害がかなり出ているみたいだね。

高橋 そうだね。被害が増加していると書いてあるね。農業被害額のグラフを見ると

小林 でも私たちの家は野菜も果物も栽培していないし、あまり関係ないんじゃないかな。

高橋 いや、そんなことはないと思うよ。私たちに①とっても危険な動物だと思う。

小林 そうかなあ。でも、そうだとでも被害を防ぐ方法がよく分からないな。

高橋 それは確かにそうだね。チラシで、もっと②説明してほしいね。

小林 小学生の弟は「アライグマかわいいな、飼ってみたいな」なんて言っていたよ。それは危険だよね。

高橋 うん、小さい子は特に注意してあげないといけないと思う。

小林 じゃあ、私たちで子ども向けのチラシを作ってみようよ。

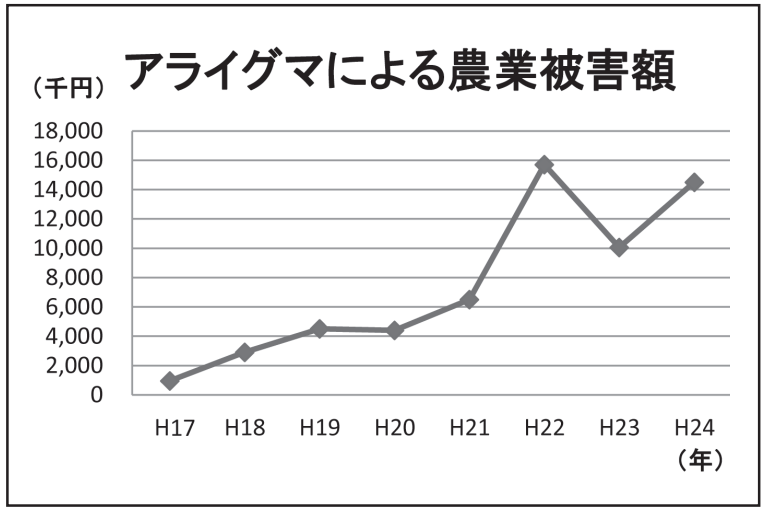
一 線部(ア) (ウ) の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

(ア) 模様

(イ) 家屋

(ウ) 設(ける)

二 【会話】の [ ] に当てはまるものとして最も適切なものを、次の1~4のうちから一つ選びなさい。



- 1 平成二十年から平成二十一年にかけての増加額は六百万円だったが、次の一年間では千六百万円も増えているね
- 2 平成二十一年から平成二十二年にかけての一年間の増加額は、平成十七年から四年間での増加額を上回っているね
- 3 平成二十三年に被害額が一度減っているけど、平成二十四年にかけての一年間での増加額はそれまでで最も大きいね
- 4 被害額は平成十九年まで増えて平成二十年には一度減っているけど、それ以降は減ることなく急激に増え続けているね

三——線部①「危険な動物」とありますが、高橋さんは【チラシ】のどの部分を見てこのように発言したのですか。次の1〜4のうちから適切なものを二つ選びなさい。

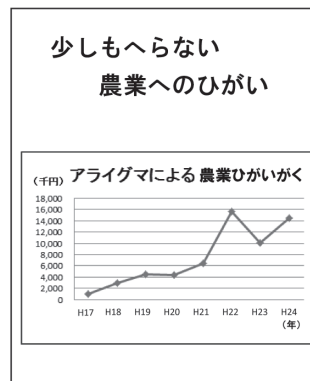
- 1 人にかみつくことがあるところ。
- 2 人と家畜ちくに病気を感染させるというところ。
- 3 わなで人がケガをするおそれがあるというところ。
- 4 収穫しゅうかくした後の野菜や果物を持ち去るというところ。

四——線部②「説明してほしい」とありますが、高橋さんはなぜそのように考えているのでしょうか。次の1〜4のうちから最も適切なものを一つ選びなさい。

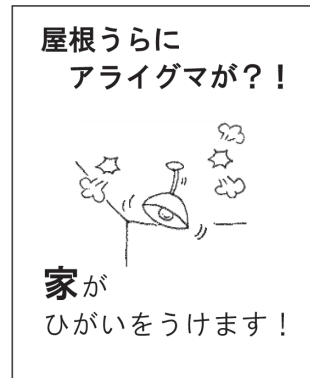
- 1 農作物以外について、被害ひがいは書かれているのに、防ぐ方法が書かれていないから。
- 2 農作物の被害対策は書かれているのに、具体的な被害の内容が書かれていないから。
- 3 チラシのタイトルに、アライグマの何に気を付けるのが明確に書かれていないから。
- 4 つかまえたりわなをしかけたりするのに、どのような許可が必要なかが書かれていないから。

五 小林さんと高橋さんは【会話】の後で、アライグマによる被害を防ぐために、子どもたちにもできることを呼びかけるチラシを作りました。二人はどのようなチラシを作ったと考えられますか。次の1～4のうちから最も適切なものを選びなさい。

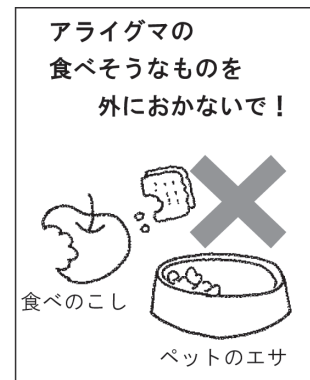
1



2



3



4



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(〔1〕～〔5〕は、段落の番号を表します。)

(光野有次「みんなでつくるバリアフリー」より、一部改変。)



(光野有次「みんなで作るバリアフリー」より、一部改変。)

(みつのゆうじ光野有次「みんなで作るバリアフリー」より、一部改変。)

(注1) 新橋駅ニ東京にある駅名

(注2) 臨海副都心ニ東京湾わん周辺の特定の地区

(注3) コストニ費用

(注4) 車椅子用トイレニ「多目的トイレ」、「みんなのトイレ」などとも呼ばれているトイレ

(注5) ニーズニ要望、必要性

(注6) ユニバーサルデザインニだれにとっても使いやすいことをめざしたデザイン

— 線部 (ア) 「そこ」がさすものとして最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 ゆりかもめのような高架のホーム
- 2 電車とホームを仕切るガラスの壁
- 3 特別な手すりと洗面台のあるトイレ
- 4 ひじょうにモダンでカラフルなデザイン

二 ―― 線部 (イ) 「いたれりつくせり」とありますが、どのような意味ですか。次の1～4のうちから最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 予定より前にすべて終わらせている。
- 2 不十分なものを無理に使い続けている。
- 3 すべてにおいて細かな心配りがされている。
- 4 いくら心づかいをしてもゆきとどかないでいる。

三 ―― 線部 (ウ) 「ほとんど」とは品詞が異なるものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 大きな音が聞こえる。
- 2 また旅行に出かける。
- 3 ときどき山登りをする。
- 4 さつと目の前を横切る。

四 [3] 段落の役割として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 それまでに書かれたことをすべて否定し、筆者の主張を述べるための準備をしている。
- 2 それまでに書いていたことを振り返りつつ、筆者に賛成する他の人の意見を紹介している。
- 3 それまでに書かれたことに対する筆者の疑問を述べ、筆者の主張につなげようとしている。
- 4 それまでに書いていたことに説得力を持たせるために理由を述べ、筆者の立場を明確にしている。

五 ———線部（エ）「つねにどこかに線引きが必要になります」とありますが、ここで言う「線引き」とはどのようなことですか。次の1～4のうちから最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 すべてのニーズを満たすためには、全体でどれくらいのコストや期間がかかるかを調べること。
- 2 すべてのニーズを満たすほどのコストはかけられないので、どのニーズを満たすかを決めること。
- 3 すべてのニーズを満たすか、ニーズを無視してコストをゼロにするかの、どちらか一方を選ぶこと。
- 4 すべてのニーズを満たす必要があるので、コストがかかったり普及ふまきゅうが遅れたりするのをあきらめること。

六 筆者の主張として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 誰もが気分よく使うことができるように、モダンでカラフルなものを作らなければならない。
- 2 デザインをするときには、バリアフリーを追求し、モデルになるものを作らなければならない。
- 3 莫大なコストがかかったとしても、すべての人のニーズにこたえられるデザインにすることが重要だ。
- 4 制約がある中で、より多くの人が利用できるように知恵を出し、工夫してデザインをすることが重要だ。

七 この文章に小見出しをつける場合、あなたは次のAとBのうち、どちらの小見出しを選びますか。どちらか一つの小見出しを選び（どちらの小見出しを選んでかまいません）、選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

〈小見出し〉

A 『理想と現実の間で』

B 『社会に生きている知恵』

条件1 「線引き」という言葉を使って書くこと。

条件2 四十字以上、七十字以内で書くこと。

※次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



次の文章は、【伊曾保物語】の中の話と、その元となった【イソップの話】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【伊曾保物語】

(武藤禎夫校注「万治絵入本 伊曾保物語」より、一部改変。)

(武藤禎夫校注「万治絵入本 伊曾保物語」より、一部改変。)

【イソップの話】

(河野与一編訳「イソップのお話」より、一部改変。)

(河野与一編訳「イソップのお話」より、一部改変。)

一 ――線部①「思ふやう」を現代仮名づかいで書きなさい。

二 ――線部②「助け侍りき」とありますが、だれがだれを助けることを示していますか。次の1～4のうちから最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 狩人がライオンを助ける。
- 2 ライオンがネズミを助ける。
- 3 ネズミがライオンを助ける。
- 4 ネズミがネズミの仲間を助ける。

三 〰線部「難儀におよびける」の意味として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 別れのときがきた。
- 2 すべてをあきらめた。
- 3 困った状況じょうきょうになった。
- 4 がんばって結果が出た。

四 〓 線部「我等を助け給ふ御恩に、今又、助け侍らん」の現代語訳として最も適切なものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- 1 助けてくれた恩返しとして、今、お助けしましょう。
- 2 助けてあげた恩返しとして、今、どうか助けてください。
- 3 助けてあげた恩返しとして、またいつか助けてください。
- 4 助けてくれた恩返しとして、またいつかお助けしましょう。

五 【伊曾保物語】と【イソップの話】の相違点について説明したものとして適切なものを、次の1～4のうちから二つ選びなさい。

- 1 【伊曾保物語】は、弱い人は強い人から受けた恩を忘れてはいけな<sup>い</sup>としているが、【イソップの話】では弱い人は強い人に恩を返す必要はないとしている。
- 2 【伊曾保物語】は、ライオンがネズミをあわれんで助けたとしているが、【イソップの話】ではネズミが恩返しをしてくれることを期待して助けたとしている。
- 3 【伊曾保物語】は、ライオンがネズミを食べてしまうことを自分で思いとどまっているが、【イソップの話】ではネズミが命ごいをしたから助けたとしている。
- 4 【伊曾保物語】は、どんな人に対しても親切にしていると良いことが返ってくるとしているが、【イソップの話】では状況がじょうきょう変われば立場が変わるとしている。



田村さんは書写の授業で行書の作品を書いたところ、先生から助言を受けたので、もう一枚書いてみました。次の【最初に書いた作品】と【助言を受けて書いた作品】を見て、あとの問いに答えなさい。

【最初に書いた作品】



【助言を受けて書いた作品】



問 田村さんは先生からどのような助言を受けたと考えられますか。次の1〜4のうちから最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 一画ずつはつきり書くとよい。
- 2 「折れ」を角ばらせて書くとよい。
- 3 点画の終わりを止めて書くとよい。
- 4 点画が連続するように書くとよい。

これで、国語の問題は終わりです。











